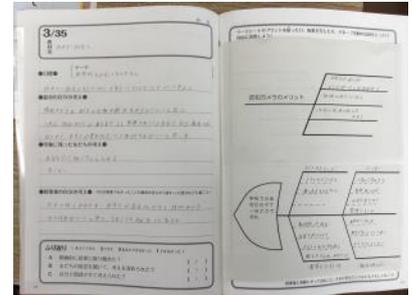
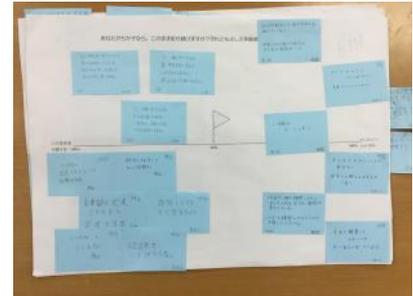
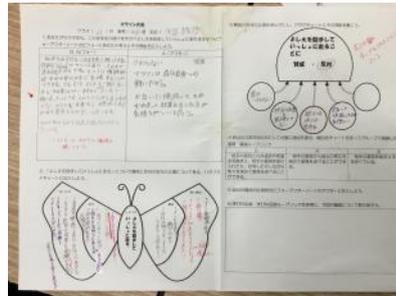


自分で考え、仲間と論議し、さらに考えを深める道徳へ

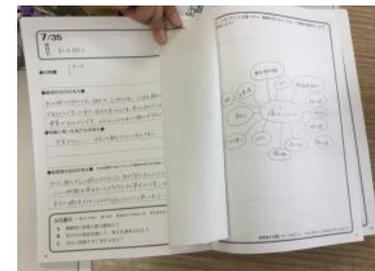
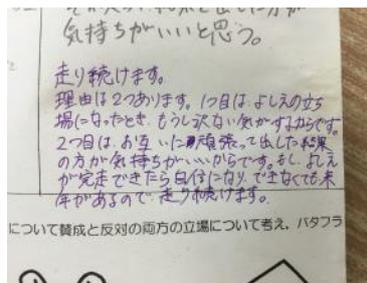
小中学校の道徳については、中学校は令和元年度から「特別の教科 道徳」として教科になりました。本校は、鷹取授業スタイルを取り入れ、道徳的な課題を自分のこととしてとらえ、色々な角度から意見を交流し、考えを深めていく授業を行っています。



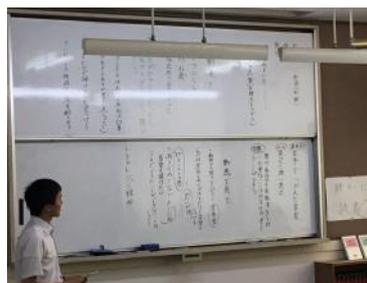
TT 形式（複数の教員）の授業。司会と板書を分担して行っています。思考ツール「フィッシュボーン」を使っの授業で、考えを深めました。板書では、思考が深まるように構造的になっています。



問題解決型の授業（モラルジレンマ）では、思考ツール「バタフライチャート」で賛成、反対側、両方の視点で話しました。



思考ツール「綱引きチャート」では、心情と理由を「見える化」し、考えを深めることができました。他に、マッピングを使ってから、考えをノートにまとめていきます。



学年道徳。教材「左手のピアニスト」では、実際にビデオで演奏を聴き、体験をしてより、主人公の心情に添える授業となりました。